



第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会 ねんりんピック宮城・仙台2012

平成24年10月13日(土)～16日(火)
伊達の地に 実れ!ねんりん いきいきと

白石市出場選手紹介

10月13日(土)～16日(火)に宮城県内で開催される「ねんりんピック宮城・仙台2012」に、本市からソフトテニス、ソフトバレーボール、水泳、囲碁の選手が出場します。
ねんりんピック宮城・仙台2012は、各都道府県・政令指定都市の厳しい予選会を勝ち上がってきた60歳以上の方々が宮城の地に集まり、スポーツ・文化交流大会などを繰り広げます。
本市では「囲碁交流大会」が開催されますので、出場選手を応援するとともに、宮城・白石を訪れる全国の皆さんを笑顔でおもてなしましょう!



▲後列(左から)齋藤信夫さん、菅野俊一さん、菅野ゆう子さん、齋藤徳治さん
前列(左から)佐久間清子さん、半澤ゆみさん、半澤民子さん

ソフトバレーボール

ビクトリー

- さいとう 徳治さん
- 齋藤 信夫さん
- かの 俊一さん
- はんざわ 民子さん
- さくま 清子さん
- かの 菅野ゆう子さん
- はんざわ ゆみさん

地元宮城での開催 チーム結成を呼び掛け

「ソフトバレーボール交流大会」に出場する「ビクトリー」の皆さんは、現在、主に毎週火・土曜日、大鷹沢小学校の体育館で練習に励んでいます。
ビクトリーは元々、齋藤徳治さんや齋藤信夫さんな

全国の皆さんと大会を楽しみたい!

本大会への意気込みを尋ねると、「とにかくけがをしないように」(半澤民子さん)、「せっかくの機会。楽しんで、できるだけ上を目指して頑張りたい」(佐久間清子さん)、「けがをしないように。でもメダルが目標」(菅野ゆう子さん)、「バレー人生50年。ソフトバレーボールは定年退職後の楽しみになっていきます。やるからには上を目指したい」(半澤ゆみさん)、「地元でやるからには上を目指してやる。力の限り頑張ります」(齋藤信夫さん)、「宮城の復興元年の年にこの大会がある。宮城をPRできるように、メダルを目指します」(菅野俊一さん)と話してくれました。
監督兼キャプテンを務める齋藤徳治さんは、「予選は準優勝でしたが、全国大会では優勝を目指します。そして、東日本大震災の時に全国から支援をいただいたお礼も兼ねて、全国の皆さんと大会を楽しみ交流を深めたい」と、全国の仲間との交流を楽しみにしています。
ソフトバレーボールは4人制で、バレーボールコートよりも狭い分、一人一人の技術と集中力とともに、選手間の連携が不可欠な競技です。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。スポーツで育んだ絆で大会に臨みます。
「ソフトバレーボール交流大会」は、加美町総合体育館を会場に行われます。

スポーツで育む絆

徳治さんと信夫さんは兄弟、俊一さんとゆう子さんは夫婦、信夫さんの息子はビクトリーの代表を務め親子で一緒にプレーするなど、「ソフトバレーボール」というスポーツがコミュニケーションの手段の一つとなり、家族の絆を深めています。
ソフトバレーボールは4人制で、バレーボールコートよりも狭い分、一人一人の技術と集中力とともに、選手間の連携が不可欠な競技です。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。スポーツで育んだ絆で大会に臨みます。
「ソフトバレーボール交流大会」は、加美町総合体育館を会場に行われます。

夫婦ペアで出場! 県代表としてベストを尽くす!



▲孫とも一緒にテニスをするという(左から)中村将秀さんと道子さん夫婦

ソフトテニス

- なかむら 将秀さん
- みちこ 道子さん

夫婦共通の趣味
「ソフトテニス交流大会」に出場する中村将秀さんと中村道子さんは、混合ダブルスに夫婦ペアで出場。県予選会で3位に入り、本大会への出場権を獲得しました。ねんりんピック出場は道子さんが3回目、将秀さんが2回目で、夫婦ペアでの出場は2010年の石川大会以来となります。
テニスを始めたのは道子さんが先。約30年前、子どもが通う幼稚園の親の会で、「テニスをやろう」という話になったのがきっかけ。卓球やソフトボールなど球技が好きだったという道子さんは、それ以来テニスの虜になりました。

もが通う幼稚園の親の会で、「テニスをやろう」という話になったのがきっかけ。卓球やソフトボールなど球技が好きだったという道子さんは、それ以来テニスの虜になりました。
将秀さんがテニスを始めたのは約20年前。健康診断で運動不足と言われた将秀さんの体を気遣い、道子さんが将秀さんに相談もなくテニスラケットとシューズを買いそろえてきたことが始まりです。「2人の趣味

が共通すれば楽しいし、じゃあ、やってみるか」と、将秀さんもテニスを始めました。
夢がかなえられた
主に週3〜4回、所属する白石ソフトテニス協会の皆さんと益岡公園テニスコートやスポーツセンターなどで練習に励む中村さん夫婦。いろいろな大会に夫婦や仲間と出場する中で、海老名市や石巻市、そのほかの市外愛好家とも幅広く交流を深めています。
テニスの楽しさを、「仲間と交流できること」と話す将秀さんと道子さん。続けて、「テニスは今や生活の一部。年齢を気にしたことはないし、自然と続けてこられた。同じくらいの年齢の相手には負けられないし、張り合いにもなっている。今年が宮城県での開催。地元での大会に出たいという夢がかなえられた。今の自分があるのは女房のおかげ」と、将秀さんは話してくれました。
「ソフトテニス交流大会」は、仙台市青葉山公園庭球場を会場に行われます。